

JLMA[®]

The Japan Lock Manufacturer's Association

27

2016.7

会報^{2016.7} VOL.27

特集 . 1 第 17 回 定時総会報告

特集 . 2 日本工業規格 (JIS 規格) の制定・改正



日本ロック工業会



平成 28 年度 JLMA 基本方針として5項目の事業活動を行って参ります。

- ①メカトロニクス、システム製品への対応と課題抽出
デジタルドアロックを含む JLMA 規格の制定
- ②実用性能認定制度に関する周知活動
・空錠の性能項目の検討と周知活動
・シリンダー錠以外の製品に対する性能項目の検討
・保守点検と耐用年数の周知活動
- ③安全・安心「防犯の日」の周知活動
・5 団体を中心とした活動と成果に対する JLMA 内での PR 活動
・会員 HP 掲載・会員カタログ掲載・JL への周知活動
- ④ JLMA 会員増加への施策検討
正会員・賛助会員増強
- ⑤ JIS 規格の国際標準化への情報収集

新年度におきましても引き続き活発な活動を行きたく、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。
2015年の住宅着工戸数は約92万戸と前年比4.6%増であり、消費税増税後の落ち込みからの回復が進みつつ2年ぶりのプラスとなり、平穏な一年であったと思われます。内訳としては、持ち家2.2%増・貸家7.1%増・マンション4.5%増ではあるが、緩やかな回復に感じられます。また、侵入窃盗については2015年86,373件であり、減少傾向にあります。これには、警察力の強化に伴うところも大きいですが、我々の開発する防犯製品によることもあるのではないのでしょうか。
今後建築のどの分野が発展して行くかですが、リフォーム分野、空家対策、スマートハウス等のシステム化等が話題に上がりますが、当会としても今後の動向に注視し、すばやい対応を心がける必要があります。

今年度の JLMA の事業内容であります、
①昨今のセキュリティ業界状況を見ますとメカニカルからメカトロニクス、エレクトロニクスへの需要変化が見られ、今後はシステムによる錠前の管理と運用される時代の到来が現実味を帯びてきていると思います。各メーカーにおきましては需要傾向に対するメカトロニクス及びシステム商品開発を計画されているものと思われます。当会におきましても錠前に関わるシステム運用の動向を見守りながらシステムのあり方を研究することが必要になってきました。現在、当会が運用するものは CP 電気錠の細則とその評価であり、デジタルドアロックの国際基準については、もう少し時間がかかるものと理解しております。時代はメカ錠だけで運用する時代ではなくなりました。当会にも電気錠・システムに詳しい人材に手助けしていただいておりますが、今年度からは、本格的に「電気錠システム」について研究し、我々の考え方をまとめ、業界認定および規格化を検討する必要があります。これには、多くの方の知識や経験が必要となることですが、技術部会・制度部会を中心に行動を起こしたいと考えてます。

②昨今警察力の向上と製品の防犯性能の向上により侵入窃盗犯は激減しておりますが、やはり防犯とは何時新しい犯罪手口により被害拡大するかわからないものです。我々は「5 団体防犯建物部品普及促進協議会」による、安全・安心「防犯の日」の5月13日に「国民の防犯意識向上」運動を展開し、全国防犯協会連合会「次世代防犯ボランティア育成プログラム研修会」を通じての周知活動、警視庁・警察博物館における展示、5 団体 HP の立ち上げ等と活動の場は発展してきております。今年度は日本防犯設備協会、北九州での展示会等5 団体の活動に賛同する輪が広がって来ております。JLMA も業務・研修部会を中心に5月13日の周知活動を展開して参ります。

③錠の実用性能認定制度の周知活動にも引き続き力を入れて参ります。制度は確立し、会員各位の要望にも応えて参りました。周知活動は、「業務・研修部会」、評価の実戦部隊は「実用性能審査委員会」であり、活動内容も明確になっております。準備は整っておりますので、制度に対する多くの方の賛同と認定製品数の充実が必須であることをご理解いただくことが必要です。

④「実用性能認定制度」「錠の保守点検制度」「耐用年数のガイドライン」の周知活動展開は「業務・研修部会」が活躍しております。日本ロックセキュリティ協同組合とともに制度の更なる充実を図り大なる発展を期待しております。

⑤ JIS 改訂については、技術部会から選任された委員 6 名が大活躍され無事に改訂が終了致しました。関係諸氏に感謝いたします。今後は実用性能認定制度の試験要領に役立てるとともに事務局、技術部会を中心に国際化への可能性を探って参ります。

⑥今後の JLMA 運営についてですが、安定した経営と組織力の強化が必要です。まずは JLMA の活動を多くの方に理解いただき、会員増強を目指します。関連団体への勧誘（サッシ、シャッタードア協会への打診）、関連企業への勧誘（ドアメーカーへの打診）により仲間が増えることが今後の発展に繋がります。

⑦ベターリビング・全国防犯協会連合会の施策である「防犯優良賃貸集合住宅認定事業」において、賃貸住宅の防犯性能を高める基準を設けた中で、玄関専用ドアの錠前は CP 錠であることとされます。賃貸住宅の防犯性能向上における CP 錠採用も期待されます。

⑧現事務局局長が JLMA の業務的代表として折衝をしていくことを想定し、今回の理事会において専務理事兼事務局局長として行動させることが望ましいと提案し、全役員の賛同を得ました。この場を借りて報告いたします。

各会員の皆様におかれましても、各部会メンバーの活躍を充分ご理解頂き、今後の JLMA 発展のためにご協力を頂きたくお願い申し上げます。

各部会長はじめ担当者の皆様に対しまして積極性と献身的対応に心から敬意を表し厚くお礼申し上げます。今年度におきましても各部会・各対応チームが精力的に効率よく活動し、会員の皆様へのご期待に沿った活動展開を期待しております。会員各位に於きましては設立目的を改めて確認して頂き、善良なる国民が、安心して生活できる世の中作りに貢献している団体として、今後も責任ある行動が大切であり、業界発展のためにも全力を尽くすことが必要であります。

今後も当工業会にご協力・ご尽力をいただきます会員ならびに担当者の皆様には改めて感謝を申し上げますとともに、日本ロック工業会の行動に誇りと自覚を持って、今年も当工業会の活動にご協力頂きますようお願い申し上げます。冒頭の挨拶と致します。



理事の皆様



会員の皆様



佐佐木業務・研修部会長



青木技術部会長



渡辺制度部会長



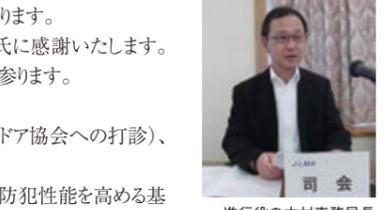
藤原実用性能認定制度審査委員



栄木CP審査委員会世話役



太田監事



進行役の木村事務局長

特集 . 1 第 17 回 定時総会報告 1

- 議案内容 第 1 号議案 第 17 期事業報告書承認の件
- 第 2 号議案 第 17 期収支決算書承認の件
- 第 3 号議案 第 18 期事業計画 (案) 承認の件
- 第 4 号議案 第 18 期収支予算 (案) 承認の件



日本ロック工業会 第17回定時総会式次第

特集 . 2 日本工業規格 (JIS規格) の制定・改正 3

CONTENTS

- 事業目的 4
- 組織図・会員会社 4
- 平成27年度 総会・理事会・部会活動経過 5
- 平成28年度 事業計画 13
- 関連資料 (業務・研修部会) 15
- 会員会社紹介 16
- JLMA通信 17
- JLMA TOPICS 18
- 部会編成会社一覧表 (平成28年度) 20
- 会員会社情報 20

特集 . 1 第17回定時総会会長挨拶

本総会のご案内をさせていただきましたところ、本日は皆様方におかれましては大変お忙しいところご遠方より、日本ロック工業会第 17 回定時総会にご出席賜り誠に有難うございます。

また、日頃は、当工業会の運営にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、昨年の役員改選から早くも一年が経過し、平成 27 年度も副会長、監査役、理事会社の計 11 社の体制により精力的に活動して参りました。

昨年の総会にて皆様方からご賛同頂きました基本方針は5項目でありましたが、これらの基本方針は全て計画通りに推移しております事をご報告致したく存じます。

また、本年 4 月 25 日の理事会におきまして平成 27 年度の全計画の結果報告と新年度平成 28 年度の活動計画につきまして承認されましたが、本日の総会におきまして皆様方よりご承認を頂戴いたしたく存じますのでよろしくお礼申し上げます。



議長の加藤会長

平成27年度 総会・理事会・部会活動経過 (平成27年6月～平成28年5月)

理事会

- ◎第52回 定時理事会 <平成27年12月9日>
- 場 所 京都ホテルオークラ：京都
- 内 容
- 第1号議案 各部会活動中間報告ならびに承認の件
業務・研修部会、技術部会、制度部会、
実用性能認定制度審査会、CP審査委員会、事務局
 - 第2号議案 第10回防犯建物部品自主点検委員会報告の件
 - 第3号議案 5団体防犯建物部品普及促進協議会報告の件
 - 第4号議案 中間収支報告の件
 - 第5号議案 その他
 - ・賛助会員入会の件
 - ・官民合同会議試験員登録の件



- ◎第53回 定時理事会 <平成28年4月25日>
- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容
- 第1号議案 第17期事業報告書(案)承認の件
 - 第2号議案 第17期収支決算報告(案)承認の件
 - 第3号議案 第18期事業計画(案)承認の件
 - 第4号議案 第18期収支予算(案)承認の件
 - 第5号議案 実用性能認定制度申請報告等の件
 - 第6号議案 5団体防犯建物部品普及促進協議会活動報告の件
 - 第7号議案 警視庁捜査3課依頼承認の件
 - 第8号議案 その他
 - ・防犯優良賃貸集合住宅認定事業活動報告の件
 - ・IS改正報告の件
 - ・他団体会費についての報告の件
 - ・定時総会日時承認の件
 - ・加藤会長からのJLMA事業の提案について



- ◎第172回 業務・研修部会 <平成27年12月16日>
- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容
- 1)理事会報告
 - 2)H27年度事業計画進捗について
 - 3)海外輸出について

- ◎第173回 業務・研修部会 <平成28年2月9日>
- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容
- 1)セキュリティショーについて
 - ・開催日時：3/8～3/11
 - ・開催場所：東京ビックサイト
 - 2)シリンダーの塩害対策標準化要請について
 - 3)海外輸出について
 - 4)会費について

- ◎第174回 業務・研修部会 <平成28年3月24日>
- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容
- 1)海外輸出について
 - 2)塩害対策標準化要請について
 - 3)実用性能認定製品検索ページの閲覧数データについて
 - 4)展示用サンプルについて
 - 5)平成28年度事業計画について
 - 6)中期収支計画について
 - 7)来年度展示会予定(大阪・北九州・東京)

- ◎第175回 業務・研修部会 <平成28年5月18日>
- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容
- 1)電位差による腐食対策品について
 - 2)JLMAホームページの実用性能認定品検索閲覧について
 - 3)警視庁研修受け入れについて
 - 4)防犯防災総合展について
 - 5)H28年度事業計画進捗状況について
 - 6)会員加入について

- ◎第1回 業務・研修部会実用性能WG <平成27年10月27日>
- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容
- 1)実用性能認定制度普及促進WG発足
 - ・外部団体へ働きかける
 - ・JLMA会員会社へアンケートを実施する

- ◎第2回 業務・研修部会実用性能WG <平成27年12月16日>
- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容
- 1)アンケート内容確認
 - ・実用性能認定制度普及促進のため会員会社へアンケート用紙を配信する

- ◎第1回 耐用年数意見交換会 <平成27年8月19日>
- 場 所 (一財)ベターリビング：東京
- 内 容
- 1)JLMA活動内容の紹介
 - ・錠の耐用年数(一般錠：10年、電気錠：7年)
 - ・実用性能認定制度
 - ・保守点検制度
 - 2)意見交換

- ◎第1回 住宅部品関連団体連絡会 <平成27年8月19日>
- 場 所 (一社)リビングアメニティ協会：東京
- 内 容
- 1)JLMA活動内容説明及び意見交換
 - 2)勉強会

- ◎第1回 防犯優良賃貸住宅認定事業検討委員会 <平成27年12月16日>
- 場 所 (一財)ベターリビング：東京
- 内 容
- 1)対象について
 - 2)地方における対応について
 - 3)基準の内容について
 - 4)名称について
 - 5)スケジュールについて
 - 6)勉強会での議論について

業務・研修部会

- ◎第166回 業務・研修部会 <平成27年6月17日>
- 場 所 JETRO本部：東京
- 内 容
- 1)JLMA海外展開の趣旨説明
 - 2)海外展開先候補国の指導
 - 3)サービス資料の内容説明
 - 4)海外展開候補国との仲介・調査依頼(有料)

- ◎第167回 業務・研修部会 <平成27年6月24日>
- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容
- 1)JETROについて
 - 2)ALIA勉強会依頼について
 - 3)平成26年度収支報告について
 - 4)JLMA HPの実用性能認定製品検索について

- ◎第168回 業務・研修部会 <平成27年8月25日>
- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容
- 1)ALIA「耐用年数ガイドライン」説明会実施について
 - 2)事務局報告
 - 3)JLMA収支(中期財源確保)について

- ◎第169回 業務・研修部会 <平成27年10月6日>
- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容
- 1)JLMA財源確保について
 - 2)平成26年度収支実績見込および平成27年度予算について
 - 3)事務局移転検討について



業務・研修部会の会議の様子

- ◎第170回 業務・研修部会 <平成27年10月20日>
- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容
- 1)財源確保について
 - 2)JLMAホームページ(会長挨拶文更新)について

- ◎第171回 業務・研修部会 <平成27年11月18日>
- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容
- 1)平成27年度事業計画について
 - ・デジタルドアロック国際会議
 - ・安全・安心「防犯の日」の周知活動
 - ・JETROへの訪問
 - ・JIS国際化への取り組み
 - ・錠の実用性能認定制度パンフレット配布、耐用年数ガイドラインについて

技術部会

- ◎第105回 技術部会 <平成27年7月24日>
- 場 所 エル大阪：大阪
- 内 容
- 1)JIS改正原案作成委員会報告
 - 2)デジタルドアロックについて
 - 3)非常錠の規格化について
 - 4)技術部会中長期予算について

- ◎第106回 技術部会 <平成27年9月18日>
- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容
- 1)㈱セイコーアイ・インフォテックの3Dプリンターに関する勉強会
 - 2)JIS規格改定報告
 - 3)建築工事監理指針25年度版改定の件
 - 4)錠機能記号の規格(錠基準化研究会作成)について

- ◎第107回 技術部会 <平成27年11月27日>
- 場 所 エル大阪：大阪
- 内 容
- 1)JIS改正原案作成建築専門委員会報告
 - 2)IEC/TC79年次大会及びデジタルドアロックWG報告
 - 3)H27年度技術部会中間報告内容説明
 - 4)JIS規格8件の問い合わせについて
 - 5)錠機能記号の規格(錠基準化研究会作成)について

- ◎第108回 技術部会 <平成28年1月22日>
- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容
- 1)JSDA日本シャッター・ドア協会からの依頼について
 - 2)デジタルドアロックの規格について



技術部会の会議の様子

- ◎第109回 技術部会 <平成28年3月18日>
- 場 所 エル大阪：大阪
- 内 容
- 1)JSDA日本シャッター・ドア協会からの塩害地仕様の標準化依頼
 - 2)デジタルロックの規格について
 - 3)内部錠の実用性能表示について
 - 4)JIS改正について
 - 5)2016年度日程(予定)について

- ◎第110回 技術部会 <平成28年5月27日>
 ■場 所 日本ロック工業会：東京
 ■内 容
 1) デジタルドアロック規格について
 2) JSDA塩害対策について
 3) 平成28年度事業計画について

- ◎第29回 JIS改正原案作成委員会 <平成27年6月26日>
 ■場 所 経済産業省：東京
 ■内 容
 1) JIS原案の見直しについて

- ◎第30回 JIS改正原案作成委員会 分科会 <平成27年7月8日>
 ■場 所 日本ロック工業会：東京
 ■内 容
 1) JIS原案見直し作業

- ◎第31回 JIS改正原案作成委員会 <平成27年10月22日>
 ■場 所 経済産業省：東京
 ■内 容
 1) 建築技術専門委員会での審議

- ◎第32回 JIS改正原案作成委員会 分科会 <平成28年2月18日>
 ■場 所 日本ロック工業会：東京
 ■内 容
 1) 改正JISの説明会資料作成

- ◎第33回 JIS改正原案作成委員会 <平成28年2月25日>
 ■場 所 (一社)リビングアメニティ協会：東京
 ■内 容
 1) JIS改定説明会 (ALIA)

- ◎第34回 JIS改正原案作成委員会 <平成28年3月4日>
 ■場 所 新宿家庭クラブ：東京
 ■内 容
 1) JIS改定説明会 (日本鋼製軽量ドア協議会)

- ◎第1回 WG会議 (DDLプロジェクト会議) <平成27年11月16～20日>
 ■場 所 パナソニックセンター：東京
 ■内 容
 1) 「警報及び電子セキュリティシステム」の年次大会
 2) CD3に対する各国のコメントについての審議・確認
 3) 各ワーキンググループの進捗確認と今後のスケジュール管理

- ◎第52回 実用性能認定制度審査会 <平成28年4月4日>
 ■場 所 日本ロック工業会：東京
 ■内 容
 1) 製品申請承認の件 (2社3品目)
 2) 試験所間比較の検討
 3) 試験実施要領書改定 (案) の確認
 4) その他

- ◎第23回 実用性能認定制度審査会 (東日本分科会) <平成27年6月19日>
 ■場 所 日本ロック工業会：東京
 ■内 容
 1) 審査会メンバーの変更
 2) 室内錠のJIS規格検討について
 3) JLMAマークからJISマークへの昇華
 4) JLMAが実施する製品サーベイランスの問題点
 5) 実施要領書の改定「製品申請の要領に関して」
 6) 試験所審査/製品審査チェックシート見直し (サーベイランス用)
 7) H社の試験所サーベイランス日程確認

- ◎第23回 実用性能認定制度審査会 (西日本分科会) <平成27年9月4日>
 ■場 所 クレオ大阪中央：大阪
 ■内 容
 1) 今後の製品サーベイランスについて
 2) 実用性能認定制度製品検索について
 3) 室内錠の性能表記について
 4) 電気錠の施錠錠耐久評価について
 5) 試験所/製品サーベイランスのチェックシート見直しについて

- ◎第24回 実用性能認定制度審査会 (西日本分科会) <平成28年1月20日>
 ■場 所 クレオ大阪西：大阪
 ■内 容
 1) 実用性能認定制度要領書改訂作業

- ◎第25回 実用性能認定制度審査会 (西日本分科会) <平成28年3月11日>
 ■場 所 サンライフ伊勢：三重
 ■内 容
 1) 実用性能認定制度要領書改訂作業

- ◎第1回 実用性能認定制度審査会研修会 <平成27年10月7日>
 ■場 所 (一財) 建材試験センター：草加
 ■内 容
 1) 建材試験センターで実施する試験の視察
 2) 建材試験センター鈴木氏による試験所認定業務に関する講習
 ・JISQ17025の傾向について
 3) 製品サーベイランスに関する勉強会

- ◎第10回 JLMA試験所審査 (サーベイランス) <平成27年6月26日>
 ■場 所 株式会社ゴール：佐賀
 ■内 容
 1) G社試験所サーベイランス審査
 2) 実施試験の確認

- ◎第11回 JLMA試験所審査 (サーベイランス) <平成27年7月10日>
 ■場 所 合資会社堀商店：東京
 ■内 容
 1) H社試験所サーベイランス審査
 2) 試験実施内容の確認

実用性能認定制度審査会

- ◎第12回 実用性能認定制度審査委員会 <平成27年10月8日>
 ■場 所 日本ロック工業会：東京
 ■内 容
 1) 製品申請承認の件 (2社)

- ◎第13回 実用性能認定制度審査委員会 <平成28年4月5日>
 ■場 所 日本ロック工業会：東京
 ■内 容
 1) 製品申請審査 (2社3品目) について
 2) 実用性能認定制度の実施要領書及び附則1・1～1・6までの改良点の説明報告。
 3) 試験所間適合性確認

- ◎第49回 実用性能認定制度審査会 <平成27年10月8日>
 ■場 所 日本ロック工業会：東京
 ■内 容
 1) 審査会と分科会の開催について
 2) 製品サーベイランス規定およびフロー (改定案)
 3) JLMA試験所サーベイランスについて
 4) その他
 ・試験報告書などの申請書類について
 ・申請文書の保管について
 ・パーミュテーションについて



実用性能認定制度審査委員会にて挨拶する国交省の横瀬課長補佐様



実用性能認定制度審査委員会での小宮先生

- ◎第50回 実用性能認定制度審査会 <平成27年12月21日>
 ■場 所 クレオ大阪中央：大阪
 ■内 容
 1) 製品申請承認について
 2) 製品サーベイランスの方法について
 2) 室内錠に関する内容について

- ◎第51回 実用性能認定制度審査会 <平成28年2月19日>
 ■場 所 日本ロック工業会：東京
 ■内 容
 1) 製品申請承認の件 (K社)
 2) 製品サーベイランスについて
 3) 試験所間比較について
 4) その他
 ・空錠について
 ・今後の課題について
 ・実施要領書の最新版化 (HP)

官民合同会議試験 (CP)

- ◎第21回 官民合同会議試験 <平成27年8月28日>
 ■場 所 株式会社アルファ：横浜
 ■内 容
 1) 追加・変更申請 1社1品目
 2) 自主点検実施について
 3) 確認試験の結果について
 4) 一般試験員講習会について
 5) CP試験申請予定等について

- ◎第22回 官民合同会議試験 <平成27年9月11日>
 ■場 所 株式会社アルファ：横浜
 ■内 容
 1) CP新規申請 1社1品目 (第二系列試験実施)



官民合同会議試験の様子

- ◎第23回 官民合同会議試験 <平成27年10月14日>
 ■場 所 株式会社アルファ：横浜
 ■内 容
 1) CP試験結果について⇒第二系列試験実施
 2) 追加・変更申請 (1社1品目)
 3) 特殊技能試験員の試験用シリンダー作成について (4社)
 4) 審査委員会メンバー追加の件

- ◎第24回 官民合同会議試験 <平成27年11月10日>
 ■場 所 株式会社アルファ：横浜
 ■内 容
 1) 審査会メンバー承認の件
 2) 自主点検結果のまとめ
 3) CP試験結果及び第5回試験審査委員会議事録について
 ・1社1品目 第二系列試験の実施
 4) 試験細則 6.2 見解について報告
 5) 追加・変更申請 (1社1品目)
 6) ピッキング試験の不定期受付について

- ◎第25回 官民合同会議試験 <平成28年3月2日>
 ■場 所 株式会社アルファ：横浜
 ■内 容
 1) 【CP試験】 (2社2品目)
 ・株G社 錠1品目 第二系列試験
 ・株S社 錠1品目 試験結果確認

耐ピッキング性能試験

◎第26回 耐ピッキング性能試験 <平成27年6月18日>

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容
 - 1)1社1品目「S10シリンダー」→特殊技能試験員による試験実施

◎第27回 耐ピッキング性能試験 <平成28年2月12日>

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容
 - 1)ピッキング試験 1社2品目 (M社)



特殊技能試験員による耐ピッキング試験の様子(日本ロック工業会)

官民試験員体力測定及び講習会

◎官民試験員体力測定 <平成27年9月10日>

- 場 所 横浜市港北スポーツセンター：横浜
- 内 容
 - 1)文部科学省の「新体力テスト」に基づいた体力測定の実施

◎官民試験員講習会 <平成27年9月11日>

- 場 所 株式会社アルファ：横浜
- 内 容
 - 1)講習その1および講習その2で実施 2)特殊技能試験員として2名を登録



CP試験員体力測定(横浜市港北スポーツセンター)

CP 審査委員会

◎第143回 CP審査委員会 <平成27年7月2日>

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容
 - 1)追加・変更申請 2社2品目 2)自主点検実施について(自主点検委員会)
 - 3)一般試験員体力測定および試験員講習会について
 - 4)追加・変更申請の確認資料について 5)CP審査会予算について



CP審査委員会の会議の様子

◎第144回 CP審査委員会 <平成27年8月28日>

- 場 所 株式会社アルファ：横浜
- 内 容
 - 1)追加・変更申請 1社1品目 2)自主点検実施について
 - 3)確認試験の結果について 4)一般試験員講習会について
 - 5)CP試験申請予定等について

◎第145回 CP審査委員会 <平成27年9月11日>

- 場 所 株式会社アルファ：横浜
- 内 容
 - 1)CP新規申請 1社1品目 (第二系列試験実施)

◎第146回 CP審査委員会 <平成27年10月14日>

- 場 所 株式会社アルファ：横浜
- 内 容
 - 1)CP試験結果について⇒第二系列試験実施
 - 2)追加・変更申請 (1社1品目)
 - 3)特殊技能試験員の試験用シリンダー作成について (4社)
 - 4)審査委員会メンバー追加の件

◎第147回 CP審査委員会 <平成27年11月10日>

- 場 所 株式会社アルファ：横浜
- 内 容
 - 1)審査会メンバー承認の件
 - 2)自主点検結果のまとめ
 - 3)CP試験結果及び第5回試験審査委員会議事録について
 - ・1社1品目 第二系列試験の実施
 - 4)試験細則 6.2 見解について報告
 - 5)追加・変更申請 (1社1品目)
 - 6)ピッキング試験の不定期受付について

◎第148回 CP審査委員会 <平成28年1月15日>

- 場 所 株式会社ゴール：大阪
- 内 容
 - 1)追加・変更申請 6社20品目
 - ・自主点検に関する申請 6社15品目
 - ・追加・変更申請 2社5品目
 - 2)ピッキング試験受付 1社2品目
 - 3)試験細則6. 2. →②見解についての報告
 - 4)理事会報告

◎第149回 CP審査委員会 <平成28年3月2日>

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容
 - 1)【CP審査委員会】
 - ・追加・変更申請 (2社3品目)
 - ・(株)G社 錠1品目 サムターン2品目
 - ・M社 電気錠1品目
 - 2)CP試験工具の見直しについて

◎第150回 CP審査委員会 <平成28年5月20日>

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容
 - 1)平成28年度事業計画について
 - 2)電気錠について
 - 3)追加・変更申請 (1社13品目)
 - 4)警察庁岩成課長補佐ご挨拶
 - 5)CP目録 (販売終了) について

自主点検委員会

◎第33回 自主点検委員会 <平成27年8月26～27日>

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容
 - 1)37製品の点検実施
 - 2)実施した結果、22製品に指摘事項あり、10月の審査会にて結論を出す。

部会長会議

◎第9回 部会長会議 <平成27年12月8日>

- 場 所 ホテルオークラ：京都
- 内 容
 - 1)理事会に向けた事前打ち合わせ



◎第10回 部会長会議 <平成28年4月11日>

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容
 - 1)平成28年度「第53回定時理事会」議案確認
 - 2)その他報告事項

5 団体防犯建物部品普及促進協議会

◎第149回 5団体防犯建物部品普及促進協議会 <平成27年6月22日>

- 場 所 日本ウィンドウ・フィルム工業会：東京
- 内 容
 - 1)第11回協議会議事録(案)の確認、承認について
 - 2)安全・安心「防犯の日」の活動について
 - 3)防犯防災総合展 in KANSAI 2015について
 - 4)その他
 - ・27年度次世代防犯ボランティア育成事業での講習会実施
 - ・関東管区警察学校にて防犯実務専科教養予定

◎第150回 5団体防犯建物部品普及促進協議会 <平成27年7月27日>

- 場 所 日本ウィンドウ・フィルム工業会：東京
- 内 容
 - 1)平成27年度第1回5団体協議会議事録(案)の確認、承認について
 - 2)平成27年度活動計画について
 - 3)関西TVとの対応について
 - 4)その他
 - ・関東管区警察学校における防犯実務専科教養講座報告
 - ・12月次世代ボランティアリーダー研修日程
 - ・日本サッシ協会会報「窓快」配布

◎第151回 5団体防犯建物部品普及促進協議会 <平成27年8月24日>

- 場 所 日本ウィンドウ・フィルム工業会：東京
- 内 容
 - 1)平成27年度第2回5団体協議会議事録(案)の確認、承認について
 - 2)平成27年度活動計画について
 - ・ホームページ制作について
 - ・展示会・研修会等に使用する関連グッズの検討
 - ・全防連研修会参加への協力の件
 - ・DVD映像の改定検討
 - 3)その他
 - ・ウエルカム警視庁へのCP展示の件

◎第152回 5団体防犯建物部品普及促進協議会 <平成27年9月28日>

- 場 所 日本ウィンドウ・フィルム工業会：東京
- 内 容
 - 1)平成27年度第3回5団体協議会議事録(案)の確認、承認について
 - 2)平成27年度活動計画について
 - ・ホームページ制作について
 - ・展示会・研修会用関連グッズの件
 - ・5団体収支の件
 - ・全防連研修会日程
 - 3)その他
 - ・ウエルカム警視庁へのCP展示の件
 - ・平成27年地域安全都民大会について

◎第153回 5団体防犯建物部品普及促進協議会 <平成27年10月2日>

- 場 所 日本ロック工業会：東京
- 内 容
 - 1)5団体ホームページ内容検討

◎第154回 5団体防犯建物部品普及促進協議会 <平成27年10月19日>

- 場 所 日本ウィンドウ・フィルム工業会：東京
- 内 容
 - 1)平成27年度第4回5団体協議会議事録(案)の確認、承認について
 - 2)平成27年度活動計画について
 - ・5団体ホームページ制作について
 - 3)その他
 - ・警視庁主催のウエルカム警視庁 (11月21日) CP展示の件

◎第155回 5団体防犯建物部品普及促進協議会 <平成27年11月24日>

- 場 所 日本ウィンドウ・フィルム工業会：東京
- 内 容
 - 1)平成27年度第4回5団体協議会議事録(案)の確認、承認について
 - 2)平成27年度活動計画について
 - ・5団体ホームページ制作について
 - 3)その他
 - ・日経セキュリティショウの件



5団体防犯建物部品普及促進協議会の会議の様子

◎第156回 5団体防犯建物部品普及促進協議会 <平成27年12月21日>

- 場 所 日本ウィンドウ・フィルム工業会：東京
- 内 容
 - 1)第6回議事録(案) 確認、承認の件
 - 2)ホームページ制作について
 - 3)その他
 - ・日経セキュリティショー
 - ・BS-TBS「土曜ニュースまるわかり」にCP製品が紹介
 - ・H28年度「次世代ボランティアリーダー育成プログラム研修」予定

◎第157回 5団体防犯建物部品普及促進協議会 <平成28年1月25日>

- 場 所 日本ロック工業会：東京
 ■内 容
 1)第7回議事録(案)確認、承認の件
 2)日経セキュリティショーについて
 3)その他
 ・H28年度全防連研修会について
 ・全防連のH・P維持費用について
 ・H28年度予算(案)について

◎第158回 5団体防犯建物部品普及促進協議会 <平成28年2月22日>

- 場 所 日本ウインドウ・フィルム工業会：東京
 ■内 容
 1)第8回議事録(案)確認、承認の件
 2)日経セキュリティショーについて
 3)その他
 ・平成28年度活動計画と予算(案)の件
 ・平成28年度活動計画と各団体拠出金額の決定
 ・活動の振り返り
 ・平成28年度活動について

◎第159回 5団体防犯建物部品普及促進協議会 <平成28年3月22日>

- 場 所 日本ウインドウ・フィルム工業会：東京
 ■内 容
 1)第8回議事録(案)確認、承認の件
 2)日経セキュリティショーについて
 3)その他
 ・平成28年度活動計画と予算(案)の件
 ・平成28年度活動計画と各団体拠出金額の決定
 ・活動の振り返り
 ・平成28年度活動について

◎第160回 5団体防犯建物部品普及促進協議会 <平成28年4月18日>

- 場 所 日本ウインドウ・フィルム工業会：東京
 ■内 容
 1)第10回議事録(案)確認、承認の件
 2)全防連研修について
 3)その他

◎第161回 5団体防犯建物部品普及促進協議会 <平成28年5月31日>

- 場 所 関東管区警察学校：東京
 ■内 容
 【教養要領】
 1)建物部品の防犯に関する基礎知識
 ・近年の犯罪情勢
 ・官民合同会議の成り立ち
 ・建物部品の防犯性能試験説明及び映像で紹介
 2)CP部品と一般部品の違いの認識方法



CP錠の構造説明する木村事務局長

5団体防犯建物部品普及促進協議会関係者OB会

◎第1回 5団体防犯建物部品普及促進協議会関係者OB会 <平成27年7月27日>

- 場 所 浅草橋：東京
 ■内 容
 1)OB会メンバー23名が集合
 2)CP製品の普及に率先して活動することを確認した

次世代防犯ボランティアリーダー育成プログラム事業研修会

◎第1回 次世代防犯ボランティアリーダー育成プログラム事業研修会 東京地区 <平成27年6月8日>

- 場 所 グランドヒル市ヶ谷：東京
 ■内 容
 1)防犯性能の高い建物部品について
 2)CP製品の防犯性能について

◎第2回 次世代防犯ボランティアリーダー育成プログラム事業研修会 東京地区 <平成27年12月3日>

- 場 所 グランドヒル市ヶ谷：東京
 ■内 容
 1)「防犯性能の高い建物部品」の説明
 2)CP製品の防犯性能に対する実演



次世代ボランティアリーダーにCP錠を説明する木村事務局長

警察関連講演等

◎第1回 防犯実務専科教養 <平成27年6月23日>

- 場 所 関東管区警察学校：東京
 ■内 容
 1)対象人数 25名(全国警察本部で防犯業務に携わっているもの)
 (1)教養内容「建物部品の防犯に関する基礎知識」
 ・近年の犯罪情勢
 ・官民合同会議の成り立ち
 ・建物部品の防犯性能試験説明および映像紹介
 (2)防犯性能の高い建物部品の紹介
 ⇒CP錠と一般部品との違いを説明(木村事務局長)

◎第2回 防犯実務専科教養 <平成28年1月21日>

- 場 所 大阪府警察本部：大阪
 ■内 容
 1)防犯実務専科教養
 対象者：生活安全課の巡査部長、巡査長、巡査の30名
 目的：警察官に必要な防犯対策の専門知識と技術の習得
 講義名：侵入犯罪の現状及び防犯性能の高い建材部品と防犯性能試験制度の紹介(講師：業務・研修部 西、深田)

◎第1回 警視庁刑事部捜査第三課講話 <平成28年5月12日>

- 場 所 警視庁：東京
 ■内 容
 【講演：日本ロック工業会会長 加藤海士郎】
 1)体験談(1)、(2)、(3) 2)官民合同会議発足
 3)疑問点の解決方法 4)国民の防犯意識を向上させる施策
 5)今後の製品群の変化 6)今後の日本ロック工業会がすべきこと
 7)警察官の皆さまへの大いなる期待



警視庁での講話(加藤会長)

防犯建物部品「CP錠」の普及活動

◎第1回 防犯防災総合展 in KANSAI 2015

<平成27年6月11～12日>

- 場 所 インテックス大阪：大阪
 ■内 容
 1)5団体協議会として出展(来場者数=16,349人、主催：テレビ大阪)
 2)セミナー講演 テーマ：「生命・財産を守る住まいの防犯」
 ・5団体協議会として講演を実施

◎第2回 ウェルカム警視庁展示会 <平成27年11月21日>

- 場 所 警視庁：東京
 ■内 容
 1)防犯建物部品(CP錠)の展示・説明

◎第3回 第24回日経セキュリティショー2016

<平成28年3月8～11日>

- 場 所 東京ビッグサイト：東京
 ■内 容
 1)テーマ：「広がる!最新セキュリティ!」
 2)来場者数=129,448人(124,833人/昨年)



第24回日経セキュリティショー2016

東京都安全・安心まちづくり協議会

◎平成27年度東京都安全・安心まちづくり協議会 <平成27年7月3日>

- 場 所 東京都庁第一本庁舎：東京
 ■内 容
 1)平成26年度東京都安全・安心まちづくり協議会の活動結果報告
 2)平成27年度東京都安全・安心まちづくり協議会の活動方針及び活動計画の策定
 3)構成団体の取り組み内容報告
 4)その他連絡事項

◎平成28年度東京都安全・安心まちづくり協議会 <平成28年5月25日>

- 場 所 東京都庁第一本庁舎：東京
 ■内 容
 1)平成27年度活動概要報告
 2)平成28年度活動方針(案)及び活動計画(案)の審議
 3)平成28年度総会の実施について
 4)その他

RBSS 審議会

◎平成28年度RBSS審議会 <平成28年4月8日>

- 場 所 (公社)日本防犯設備協会：東京
 ■内 容
 1)平成27年度RBSS(優良防犯機器認定制度)実績報告
 2)平成28年度RBSS(優良防犯機器認定制度)推進計画

業務・研修部会

- 1 デジタルドアロックの基準の確立と今後の方向性の内容が決まり次第技術部会と連携し、対応をする。
- 2 5団体として展示会に参加し「安全・安心防犯の日」の周知活動をする。更にその成果を持ち帰り展開事項を整理する。また、JLに対し協力を仰ぐ。
- 3 技術部会にての検討事項を受け、周知方法を検討し活動する。
- 4 「錠の保守・点検制度」と「耐用年数のガイドライン」について 周知活動を行う。
- 5 正会員・賛助会員の増強のための施策を検討する。
- 6 JIS規格の国際化の方向性が決まり次第、周知方法を検討する。

技術部会

- 1 実用性能認定制度の運用への協力
- 2 JLMA規格の新基準の作成
- 3 日本サッシ協会試験規格部会・国際対応部会への参加
- 4 デジタルドアロック国際規格作成への参加

制度部会

- 1 デジタルドアロック及び電気錠システム製品についての対応の方向性が決まり次第、技術部会や他部会と連携を取り制度部会としての活動を行う。
- 2 「錠の実用性能認定制度」「錠の保守・点検制度」及び「耐用年数のガイドライン」の周知に関して必要に応じ、他部会関連団体と連携し横断的な活動を行う。

実用性能認定制度審査会

実用性能認定制度審査会メンバーは、「錠の実用性能認定制度」の申請に関して厳正な審査を実施すると共に円滑な運用体制を構築する。

CP 審査委員会

- 1 官民合同会議関連の全ての審査
 - ①官民試験（一般錠+電気錠）／ピッキング性能試験
 - 平成28年10月／第23回官民試験／アルファ本社
 - 平成29年03月／第24回官民試験／アルファ本社
 - ②CP試験員WG（一般試験員講習会指導）
 - 平成28年09月／一般試験員の体力確認／港北スポーツセンター横浜
 - 平成28年09月／一般試験員技量の維持と均一化／アルファ本社
- 2 JLMA内の技術的案件に対する全ての審査
 - ①CP試験審査委員会

●平成28年4月／第1回／JLMA事務局	●平成28年6月／第2回／関西地区
●平成28年8月／第3回／JLMA事務局	●平成28年9月／第4回（CP受付）／JLMA事務局
●平成28年10月／第5回（CP試験開催）／アルファ本社	●平成28年12月／第6回／関西地区
●平成29年2月／第7回（CP受付）／JLMA事務局	●平成29年3月／第8回（CP試験開催）／アルファ本社
 - ②電気錠基準WG
 - CP審査委員会の開催日前後に分科会を開催する。
 - ③予備審査管理WG
 - 案件が生じた時 具現化検討を行う。
- 3 自主点検委員会
 - ①第10回自主点検実施

●平成28年06月／事前打合せ～詳細決定／関西地区	●平成28年08月（2日間）／点検実施／JLMA事務局
---------------------------	-----------------------------
 - ②是正確認
 - 平成28年10月／アルファ本社

事務局

- 1 電気錠システム製品への対応と課題抽出について、各部会の情報・意見を収集し、JLMA規格・基準の作成に役立てる。
- 2 “安全・安心「防犯の日」”の周知活動について、5団体防犯建物部品普及促進協議会活動を各会員へ伝える。業務・研修部会との連携強化を図る。
- 3 実用性能認定制度に関する周知活動について、各部会と連携した情報・意見を収集し、シリンダー錠以外の製品の性能項目を検討する。

●技術部会との連携強化を図る。	●関連団体への周知活動の推進。
-----------------	-----------------
- 4 錠の保守点検制度と耐用年数ガイドラインの周知活動について、日本ロックセキュリティ協同組との連携強化を図る。また、関連団体への周知活動の推進。
- 5 JLMA会員増加への施策検討について、関連団体、企業、業界紙等の情報収集を図る。
- 6 JIS規格の国際標準化への情報収集について、行政の指導を仰ぎ進捗させる。

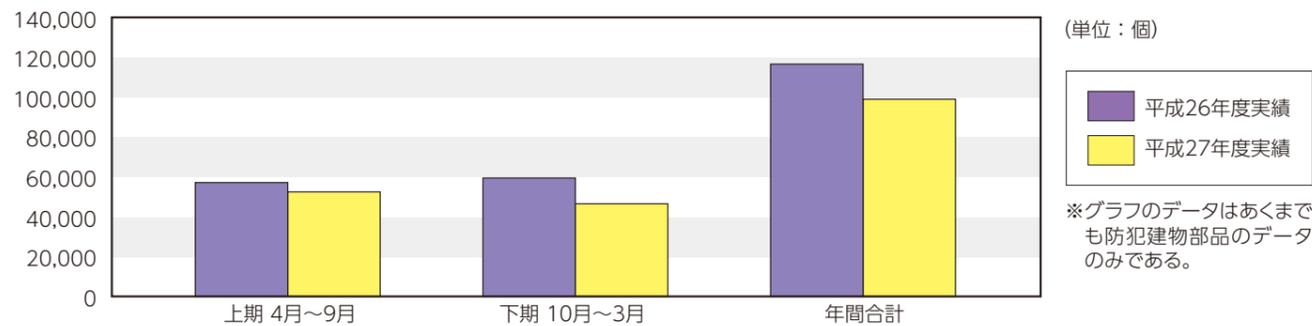
関連資料〈業務・研修部会〉

平成27年度 JLMA防犯建物部品の普及情報

名称	種別	上期 平成27年4月～9月			下期 平成27年10月～平成28年3月			平成27年4月～平成28年3月		
		指定建物錠	防犯建物部品	CP/指定建物錠	指定建物錠	防犯建物部品	CP/指定建物錠	指定建物錠	防犯建物部品	CP/指定建物錠
シリンダー錠		1,728,774	52,178	3.02%	1,717,503	46,209	2.69%	3,446,277	98,387	2.85%
シリンダー		1,254,254	54	0.00%	1,371,446	64	0.00%	2,625,700	118	0.00%
サムターン		92,159	214	0.23%	103,475	208	0.20%	195,634	422	0.22%
平成27年度実績		3,075,188	52,446	1.71%	3,192,424	46,481	1.46%	6,267,612	98,927	1.58%
平成26年度実績		3,316,969	57,129	1.72%	3,613,767	59,413	1.64%	6,930,736	116,542	1.68%

(単位：個)

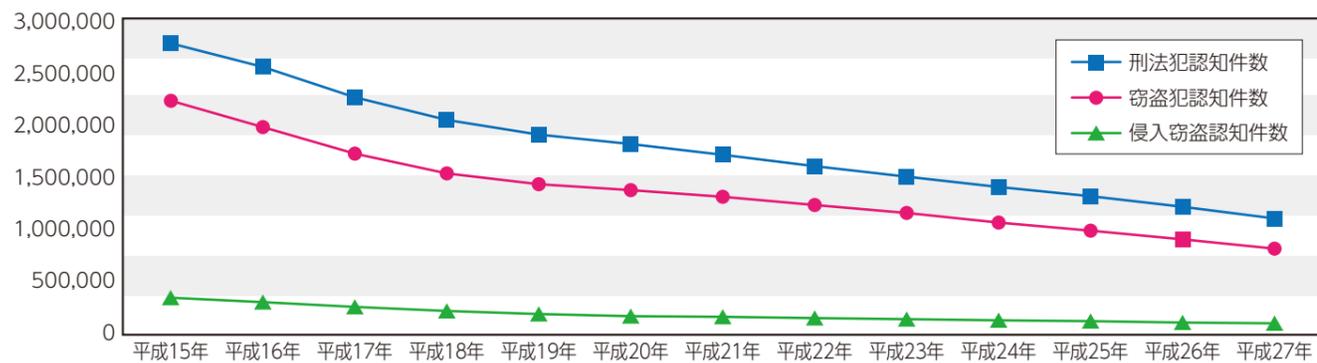
防犯建物部品出荷数推移比較 (平成26年度・平成27年度)



※グラフのデータはあくまでも防犯建物部品のデータのみである。

◇平成27年度の指定建物錠の合計出荷数量は、前年比90%と減少。防犯建物部品の合計出荷数量においても、前年比の84%と2年連続で減少。防犯建物部品が指定建物錠総数に占める割合も前年度1.68%から1.58%となり、全体的に減少。全防連、5団体との連携を図りCP普及促進における啓蒙活動が必要。

警察庁統計 認知件数



(単位：件) 出展：警察庁

◇刑法犯の認知件数は平成14年をピークに一貫して減少しており、犯罪情勢には一定の改善がみられる。近年の刑法犯の認知件数の減少は、窃盗犯の認知件数の減少が大きな要因となっている。侵入窃盗の認知件数は、平成15年以降減少に転じ、平成27年は86,373件、前年比-7.7%と13年連続で減少しています。また、このうち住宅対象侵入窃盗は、平成16年以降減少しており、平成27年は46,091件で前年比-4.2%と、同じく連続して減少しています。しかしながら、一日当たり約126件もの住宅に対する侵入窃盗が発生しており、未だ多くの住宅が被害に遭っています。

会員会社紹介

株式会社 オプナス

創業80年以上の歴史や実績、そして日本銀行をはじめとする多くの金融機関にご愛用頂いたダイヤル錠製造で培った技術を背景に、常に新たなセキュリティをお届けします。

最高のセキュリティを求められる金融機関向けのダイヤル錠製造からスタートしたオプナスですが、その活動範囲は常に広がり続けています。錠前に関してはオフィスファニチャー向け、自動販売機向け、住宅向けなど幅広い用途に対応しています。また錠前のみならず、ホテルセーフ、手荷物預かりボックス、宅配ボックス、非接触エントランスシステムなどシステム製品まで、商品群は拡大しております。お客様、そして時代の求めているセキュリティニーズに合わせ商品、サービス、活動フィールドも拡大、多様化し続けています。

主要製品



Opnus 株式会社 オプナス www.opnus.co.jp

本社 〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-11-9 イーピア橋本ビル6F TEL.03-5822-7511 FAX.03-5822-7512
札幌営業所 TEL.011-846-6065 大阪営業所 TEL.06-6308-1705 名古屋営業所 TEL.052-309-3287 福岡営業所 TEL.092-436-8018

株式会社 川口技研

弊社は1962年にロック製品を発売して以来、室内錠のメーカーとしてより品質の高い製品を送り出せるように努めています。現在ではレバーハンドルや引手、各種ケース錠など時代のニーズに応えた品揃えをしております。

性能において錠は耐久性、レバーハンドルや引手は耐食性でJIS基準の他、自社独自の基準を設定し、厳しい試験をクリアしています。これらの製品は住宅づくりでのプロのお客様に対してだけでなく、一般のお客様向けにも小売店・量販店等、幅広くご採用いただいております。

私たちは「お客様の想いにかなう製品をご提供していく」を合言葉に、基本に忠実で安全・安心に使えることを第一とし、川口技研らしい製品を皆様にご提案できるよう日々一歩ずつ着実に進み続けていきたいと考えております。



株式会社 川口技研

地球にやさしく 品質の向上へ
ISO14001 ISO9001
全事業所を対象に認証取得しています



●営業本部 〒333-0844 埼玉県川口市上青木1-14-41
TEL 048-255-5411 FAX 048-255-8228
●大 阪 TEL 06-6380-1150 ●福 岡 TEL 092-437-4111
●東 北 TEL 0244-36-2002 <http://www.kawaguchigiken.co.jp/>



2011
製品安全対策優良企業

第17回 定時総会懇親会



平成28年度 第17回定時総会は、5月26日（木）に千代田区霞ヶ関の法曹会館「富士の間」において開催しました。本総会では、正会員20社（委任状1社含む）賛助会員7社のもと第1号議案の第17期事業報告書承認の件から、第4号議案である第18期収支予算（案）承認の件までの議案がすべて承認可決されました。また、総会後の懇親会（高砂の間）ではご来賓として国土交通省、経済産業省、警察庁、警視庁等4省庁の他29団体46名の方々のご出席を賜り盛大な会が執り行われました。



警視庁都市防犯対策官 警視長 成田様
 国土交通省住宅局 住宅生産課 課長補佐 谷山様
 開会の挨拶 加藤会長
 乾杯の挨拶 和氣副会長
 中締め挨拶 岸本副会長
 受付の片岡さん（左）と司会を務めた三石さん

■国立科学博物館のウェブサイトへJLMA会員会社が掲載！！
 内容はJLMAのHPから閲覧できます。

国立科学博物館では、我が国における産業技術史資料の収集、評価、保存、公開及び重要資料の台帳への登録、情報提供等に関する事業を行うため、産業技術史資料調査会の提言を受け、平成14年に産業技術史資料情報センターを設置し、昨今失われつつある産業技術史に関する資料の総合的調査研究を進めている。なかでも産業技術史資料の調査は、各産業分野・技術分野を束ねる工業会と協働し、日本の産業技術のすばらしさ、産業技術史資料の重要性をアピールするものです。今回、JLMAに対し日本の産業技術の発展に貢献した製品である鍵と錠を、産業技術史資料情報センターの産業技術史資料データベースに新たに「鍵・錠・錠前」として登録されました。

登録・掲載された会員会社は

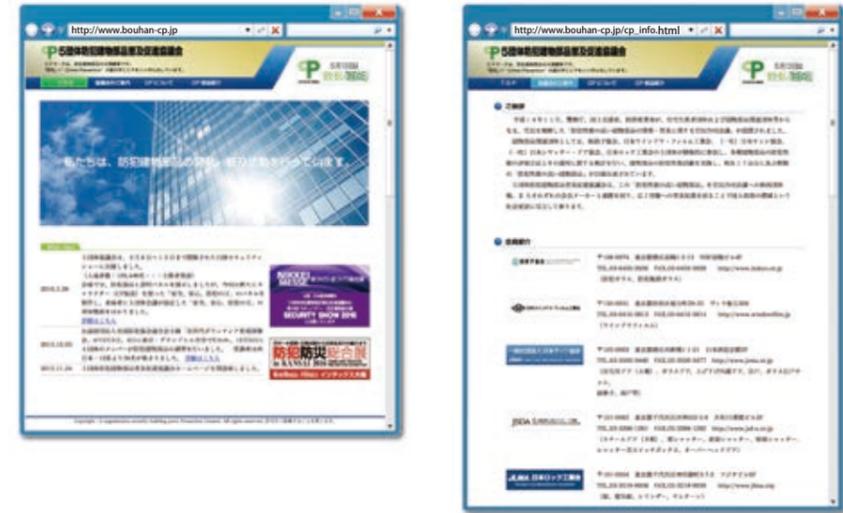
- (株)ユーシン・ショウワ
- (株)アルファ
- (株)長沢製作所
- (株)ゴール
- (株)WESTinx
- 美和ロック(株)
- 日本カバ(株)
- (株)日本ロックサービス



国立科学博物館

トピック1
 5団体防犯建物部品普及促進協議会のホームページが新規開設！！

<http://www.bouhan-cp.jp>



トピック2
 イベント用ブルゾン（ジャンパー）を制作

5団体協議会では、“安全・安心「防犯の日」”我が家を守るCP製品をスローガンに掲げて活動をしています。CP普及の一環として各展示会・講習会・研修会等に着用するブルゾンができました。背面にCPマーク、胸はCP仮面、腕には安全・安心「防犯の日」のマークがあり、カッコ良いデザインに仕上がっています。サンプルは事務局に有りますので是非ご覧ください。



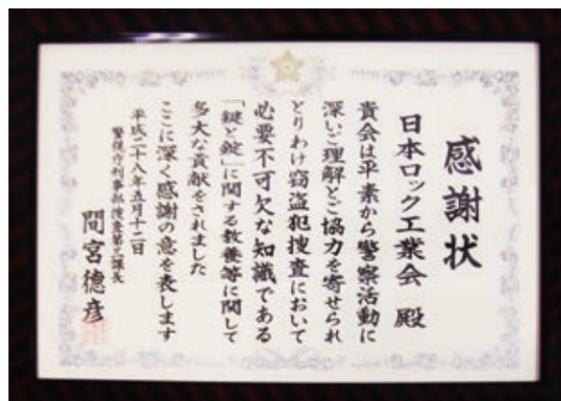
トピック3
 第2回「5団体防犯建物部品普及促進協議会」OB会の開催

5団体防犯建物部品普及促進協議会は、発足して12年が経ちます。これまでにCPを中心として防犯活動に継続して携わっている方々への感謝と今後の活躍を確認しました。



トピック4
警視庁刑事部捜査第三課から感謝状授与

日本ロック工業会の加藤会長が警視庁刑事部捜査第三課長から「鍵と錠」の教養等に対して多大な貢献をしたことにより、感謝状が授与されました。



トピック5
電気錠システムプロジェクトチーム発足

現在のメーカーの商品群はメカ錠が中心である。これからの新商品は電気錠及びシステム商品開発へと移行していく流れである。電気錠システムに関してはJLMAの責任範囲が明確になっていない等々、JLMAにおいても錠前に関わるシステム運用の動向を見ながらどのような規格・基準が必要なのかを検討し、今後JLMA規格として確立することが必要と考え6月15日(水)に新プロジェクトチームが発足した。

名 称：電気錠システムプロジェクトチーム

【メンバー】

- ・チームリーダー： 加藤会長、 事務局：木村事務局長
- ・業務・研修部会： (株)ゴール 佐佐木 英幸、(株)ユーシン・ショウワ 西 登
- ・技術部会：美和ロック(株) 青木 信道
- ・制度部会：(株)アルファ 渡辺 稔
- ・実用性能認定制度審査会：(株)オプナス 藤原 重晴
- ・CP審査委員会：(資)堀商店 栄木 康、(株)ユーシン・ショウワ 山本 哲也

【検討項目】

- 1)電気錠・システムの性能、グレード分けについて検討する。
- 2)電気錠・システムの責任範囲を明確にすることについて検討する。
- 3)メカ錠との基準・規格について比較検討を行う。

部会編成会社一覧表 <平成28年度>

業務・研修部会 Activities and Training Committee		9社
部会長	[副会長会社] 株式会社 ゴール	
副部長	[理事会社] 株式会社 オプナス	
副部長	[理事会社] 株式会社 ユーシン・ショウワ	
部員	[理事会社] 株式会社 アルファ	
部員	株式会社 アート	
部員	[理事会社] 株式会社 WESTinx	
部員	[監事会社] 株式会社 ベスト	
部員	[副会長会社] 美和ロック 株式会社	
部員	株式会社 ユニオン	

技術部会 Technology Committee		13社
部会長	[副会長会社] 美和ロック 株式会社	
副部長	[理事会社] 株式会社 アルファ	
副部長	[副会長会社] 株式会社 ゴール	
部員	[理事会社] 株式会社 WESTinx	
部員	[理事会社] 株式会社 オプナス	
部員	[理事会社] 株式会社 川口技研	
部員	株式会社 日中製作所	
部員	[理事会社] 株式会社 シブタニ	
部員	株式会社 長沢製作所	
部員	[会長会社] 日本カバ 株式会社	
部員	合資会社 堀商店	
部員	[理事会社] 株式会社 ユーシン・ショウワ	
部員	株式会社 ヤナイ	

制度部会 Systems Committee		11社
部会長	[理事会社] 株式会社 アルファ	
副部長	[副会長会社] 美和ロック 株式会社	
副部長	[会長会社] 日本カバ 株式会社	
部員	[理事会社] 株式会社 WESTinx	
部員	[理事会社] 株式会社 オプナス	
部員	[理事会社] 株式会社 川口技研	
部員	[理事会社] 株式会社 計電産業	
部員	[副会長会社] 株式会社 ゴール	
部員	[理事会社] 株式会社 シブタニ	
部員	合資会社 堀商店	
部員	株式会社 ユニオン	

実用性能認定制度審査会 Practical performance Committee		11社
	[理事会社] 株式会社 アルファ	
	[理事会社] 株式会社 WESTinx	
	[理事会社] 株式会社 オプナス	
	[理事会社] 株式会社 川口技研	
	[副会長会社] 株式会社 ゴール	
	[理事会社] 株式会社 シブタニ	
	株式会社 長沢製作所	
	[会長会社] 日本カバ 株式会社	
	合資会社 堀商店	
	[副会長会社] 美和ロック 株式会社	
	[理事会社] 株式会社 ユーシン・ショウワ	

※審査会は公平・平等の観点から、部会長・副部長制度は設けておりません。

CP審査委員会 CP Screening Committee		10社
	[理事会社] 株式会社 アルファ	
	[理事会社] 株式会社 WESTinx	
	[理事会社] 株式会社 オプナス	
	[理事会社] 株式会社 川口技研 (空錠)	
	[副会長会社] 株式会社 ゴール	
	[理事会社] 株式会社 シブタニ	
	[会長会社] 日本カバ 株式会社	
	合資会社 堀商店※世話役	
	[副会長会社] 美和ロック 株式会社	
	[理事会社] 株式会社 ユーシン・ショウワ※世話役	

※審査委員会は、技術的案件的全ての審査に対して、公平・平等の観点から、部会長・副部長制度は設けておりません。

※制度部会については、活動内容に応じたメンバーをその都度招集し対応する。
※実用性能認定制度審査会を独立させ活動する。

会員会社情報

【入会会員／賛助会員2社】	○承認日 / 平成 27年 12月 9日
	会社名：コマニー株式会社 / 代表者：代表取締役社長 塚本 幹雄
【会員代表責任者変更】	○承認日 / 平成 27年 12月 9日
	会社名：株式会社プラグイン22 / 代表者：代表取締役 嘉納 輝明
【入会会員／賛助会員2社】	○承認日 / 平成 27年 5月 27日
	(旧) 株式会社アルファ 代表取締役社長 木之瀬 茂 ▶ (新) 株式会社アルファ 取締役常務執行役員 有賀 新二
【入会会員／賛助会員2社】	○承認日 / 平成 28年 4月 25日
	(旧) 株式会社シブタニ 代表取締役社長 遠藤 偉佐實 ▶ (新) 株式会社シブタニ 代表取締役会長 遠藤 偉佐實



防犯性能の高い建物部品

安全・安心「防犯の日」の制定

5月13日は **安全・安心「防犯の日」**

5月13日はCPマークの商標を出願した日です

JLMA 日本ロック工業会

<http://www.jlma.org>

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-7-2 フジタビル6階
TEL.03-3518-9938 FAX.03-3518-9939